

# 牛久：学校周辺に見る自然

第7号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年4月29日発行

## ＜ みずべ公園で、春の生きもの観察。～④その他の虫 ＞

4月15日、16日、ひたち野うしく小4年生とのみずべ公園春の生きもの観察。今回は、花以外で見つけた虫たちです。



ギシギシの葉を食べるコガタルリハムシ幼虫（左上）。成虫と幼虫（右上）。交尾（左下）。たまご（右下）。

ギシギシの葉を食べて、穴ぼこだらけにしていた昆虫がいました。コガタルリハムシの幼虫です。ほとんど脈だけになってしまった葉もありました。近くに成虫も見つかり、交尾しているものもいましたね。成虫もギシギシの葉や花を食べます。さらには、たまごを見つけてくれた子もいました。やはり、おおぜいで探すといろいろ見えてきますね。

「でっかい、アリみたいな虫がいるよ～ッ！」と呼んでくれたので行ってみると、マルクビツチハンミョウでした。はねが退化していて巨大なアリのように見えますが、カブトムシなどと同じ「甲虫



（こうちゅう）」のなかまです。おなかが丸々とふくらんでいます。この中に数千個の卵があり、土の中にまとめて産みます。ふ化した幼虫は花に登り、蜜を吸いに来たハチにとりついてその巣穴に侵入します。そしてハチの卵を食べ、蓄えの蜜や花粉を食べて成虫になります。さわると死んだふりをし、脚の関節から黄色い毒液を出すので気をつけましょう。ファーブル昆虫記にも出てくるツチハンミョウ。



こちらは本当のアリ、クロヤマアリ  
です。たった2頭で、自分たちよりはるかに大きいクモを運んでいました。大あごでくわえて引っぱったりしているのですが、すごい力ですね。

← たった2頭でクモを運ぶ、クロヤマアリ。



「クモが見つからない。」という子が多かったですが、こんなところにも、クモがいました。鳥か何かに食べられたのか、幹についたハラビロカマキリの卵のうがポロポロになっていました。その写真を撮っておいたのですが、後で見ると、何やら節の多い虫がびっしり。ウスアカフサヤスデのように見えますが、カマキリ卵のうの天敵のヒメマルカツオブシムシ幼虫の可能性もあるか。そしてそのわきには、1頭のクモがいました。さて、このクモは何をしているのでしょうか？ えものを待ちぶせ？ 雨風を避けていた？ ポロポロになったハラビロカマキリの卵のうにびっしりのウスアカフサヤスデ？（あとで確認したい）と、そのわきにひそむクモ。→



シダレヤナギの幹では、名札のうらにダンゴムシをたくさん見つけましたね。うまく、割れ目に入りこんでいます。そういえば、下のアスファルトの割れ目にもよくいましたね。こんな高いところまで登って、途中で落ちてしまうことはないのでしょうか？

← シダレヤナギの名札のうらにいた、ダンゴムシ。



さくらの幹には、ヨコヅナサシガメがいました。グロテスクな姿ですが、さくらの葉を食べる害虫をたいじしてくれる、さくらにとってはありがたい虫なのです。針のような口先をガの幼虫などに刺して体液を吸うのですが、捕まえようとするとき手を刺されたりして激しく痛いそうですから、くれぐれもご注意を。ミツバチなども手でつかもうとすれば刺しますが、自分に置きかえれば、その気持ち？は分かりますよね。必死なのです。

← さくらの幹にいた、ヨコヅナサシガメ。



オオカマキリの卵のうらん（左上：ふ化はまだ）、ナナホシテントウ（右上：ギシギシのアブラムシを食べる）、ヒメアメンボ（左中：おたまじゃくしの池で）、キリウジガガンボ（右中：ハエに近いなかま）、クリオオアブラムシ（左下：校庭のクヌギにも）、イヌシデメフクレフシ（右下：ダニが繁殖はんしよくしてできる枝先の虫こぶえださき）。

その他、見られた昆虫こんちゆうですが、冬に昨年こんねんの4年生と観察したオオカマキリの卵のうは、まだふ化していませんでした。だいたいいつも、5月の連休のころなのですが、どうでしょう。

コガタルリハムシようちゆう幼虫が葉を食べていたギシギシでは、ナナホシテントウがアブラムシを食べていました。ギシギシは、コガタルリハムシやアブラムシに栄養をとられてたいへんですね。

黒く小さいヒキガエルのおたまじゃくしでいっぱいこがたの池には、ヒメアメンボがいました。小型のアメンボで、水面に落ちた虫などの体液たいえきを吸って育ちます。

キリウジガガンボは、何のなかまか分かりますか？ はねが2枚、頭の大きさのわりに複眼ふくがんが大きく、触角しよつかくがごく短い。そう、ハエに近いなかまなのです。

クリオオアブラムシは大型おおがたのまっ黒なアブラムシで、学校でもクヌギにびっしりついていましたね。イヌシデの枝先えださきについていた実みのようなものは、ダニが繁殖はんしよくしてできる虫こぶイヌシデメフクレフシで、これがついていることで、よく似たアカシデとの見分けもできます。【理科支援員：宮内】